



**二の神殿
高欄・木階・浜縁解体前**

震災によって破損が生じた、高欄・木階・浜縁の修理のため、これら神殿前面の部材を解体していきます。



**二の神殿
高欄・木階・浜縁解体中**

解体中も調査・写真撮影などを行っています。
解体中でないと見ることができなく、解体完了するとわからなくなってしまう各部材の納まりなど、見落としが無いよう注意して解体を進めていきました。



**二の神殿
高欄・木階・浜縁解体完了**

解体が完了しました。
解体し調査を行った部材は、修理を行ったのち、元の状態に復旧します。



楼門 1階屋根解体

前回の報告で2階の解体完了を報告しました。続いて1階屋根の解体を開始しました。

写真は、屋根表面に葺かれていた銅板を大部分解体し終えた状態です。ここから木部の解体が始まります。



楼門 1階屋根解体中

野地板を解体し終えた状態です。

一番表面に見えるのは、野垂木という部材です。

野垂木は、建てられた当初である江戸時代の部材も残されていますが、大正、昭和、平成と各年代の修理時に取り換えられた部材もあり、定期的なメンテナンスが施されてきたことを垣間見ることができます。



楼門 当初の計画がわかる痕跡

楼門は倒壊してしまっているのので、どういう寸法で造られているのかわかりません。

しかし、建てるときに大工さんが墨で引いた線や書いた文字が残されており、それらを参考にして当初の計画寸法を割出し、図面を作製していきます。



還御門 破損した組物 解体前

還御門は、親柱と呼ばれる中央の柱の上にある組物が、震災によって破損しました。取り外して修理を施し、元の状態に復旧します。



還御門 破損した組物 修理中

大斗(だいと)と呼ばれる部材は割れてしまっていたので、補強のため中に角材を2本入れたのち、接着しました。



還御門 破損した組物 復旧完了

修理した部材を元の状態に戻し、復旧が完了しました。